

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査日	2017年	9月	22日	記入者	久門たつお
調査者名	岡村	小倉	久門	鈴木	橋詰

調査対象先	八坂神社				
所在地	奈良市大保町142			電話番号	
代表者 調査対応者	宮司は長尾神社(奈良市阪原町)の太田和秀禰宜が兼務 対応は氏子役員(老主)の櫛(けやき)善清さん				
対象文化財	彫刻	県指定: 1件	国宝: 1件	重文: 1件	
	建造物	県指定: 1棟	国宝: 1棟	重文: 1棟	

地震対策

①対策の現況	<input type="radio"/> A:実施済	<input type="radio"/> B:一部実施済	<input checked="" type="radio"/> C:未実施
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容		
	今後の予定		
	要望		
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない	<input type="checkbox"/> 資金が足りない
	今後の予定	<input checked="" type="checkbox"/> その他(県指定の本殿の地震対策について自治会や氏子で検討したことがない。)	
	要望	約20年サイクルで行っている本殿の造替を近年中に県教委主導で実施してもらうことにしている。老朽化した部材を交換すると共に、朱塗りの塗り替えなどを行う。	
	要望	本殿造替の際に地震対策も可能な範囲で含めていただければ。	

防火対策

①対策の現況	<input checked="" type="radio"/> A:実施済	<input type="radio"/> B:一部実施済	<input type="radio"/> C:未実施
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	火災報知器は本殿、面5点を保管している土蔵、社務所に約20年前から設置している。避雷針も同じ頃から境内の木立の中に設置済み。消火器は社務所などに配備している。	
	今後の予定	特にない。	
	要望	特にない。	
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない	<input type="checkbox"/> 資金が足りない
	今後の予定	<input type="checkbox"/> その他( )	
	要望		

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査対象先	八坂神社
-------	------

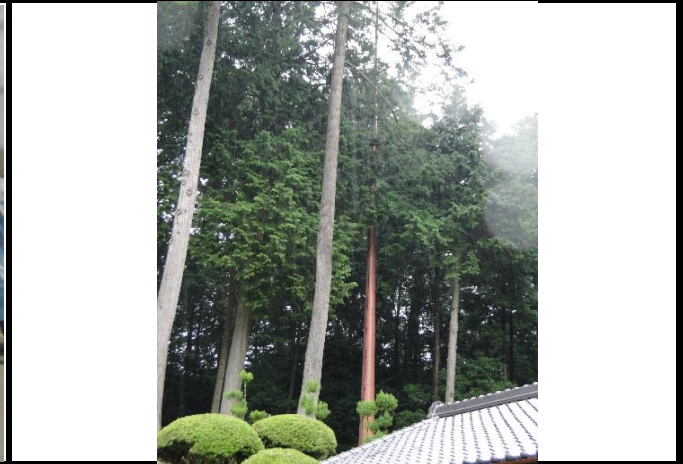
獣害・白アリ等の対策		
① 獣害等被害	<input type="radio"/> A: 経験あり	<input checked="" type="radio"/> B: 経験なし
② ①の回答が Aの場合	どのような被害か	
③ 今後	今後の予定、要望	神社は風通しの良い場所に位置していることもあって、白アリ被害はない。神社近くではイノシシが出没しているが、神社では特に被害は出ていない。

元禄4年(1691)建立の県指定の本殿	拝殿(左手前)と本殿(右奥)
---------------------	----------------



前回1996年の本殿造替完工式の様子(神社提供)

本殿近くの木立の中に設けられた避雷針(中央)



面を保管している土蔵内にも火災報知器を設置

【調査票記入者(久門たつお)の感想】



山間地にあり地域の人たちが管理しているが、過疎化・高齢化の影響は否めない。県指定の本殿の造替工事がいずれ行われると思われるが、そのタイミングで耐震面の配慮を望みたい。